

# 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 22-070	
研究課題名	急性・亜急性脊髄症の臨床的検討
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	<p>急性・亜急性脊髄症 (acute and subacute myelopathies: ASM) は、急性または亜急性経過で発症し、脊髄病変による運動障害、感覚障害、排尿排便障害を様々な組み合わせで生じる疾患群である。脊髄病変の原因は多様で、病因カテゴリー別に圧迫性脊髄症、脊髄血管障害、代謝性(栄養障害性)脊髄症、脊髄炎などに大別される。ASM では、いずれの原因であっても早期治療が必要なケースがほとんどであるが、初期診療における的確な原因診断は必ずしも容易ではない。初期の画像検査で圧迫性脊髄症を除外できたとしても、脊髄血管障害と脊髄炎の区別が難しいケースや、脊髄炎の中でも感染性、自己免疫性、脱髄性、感染後性の区別が難しいケースが存在し、複数の病態に対応した治療を並行して開始することも少なくない。そして、多くのケースでは初期治療開始後も原因診断を継続的に考える必要があり、しかも、ASM 多数例(170例)の長期経過をみた報告によれば、初期診断と最終診断が異なる例が約1/3にも及ぶとされている<sup>1)</sup>。</p> <p>本研究では、ASM の初期診療における原因診断の精度向上のために、ASM 多数例の臨床的特徴を検討する。さらに、急性・亜急性脊髄炎を脊髄血管障害や他の原因による ASM と区別する臨床的特徴を明らかにする。</p> <p>情報の利用に際しては、患者のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報漏出防止を徹底する。学会・研究会で報告あるいは論文として発表する場合は、個人が特定されないように十分に配慮する。また、本研究は観察研究であり、研究によって患者個人に不利益や危害が及ぶことは想定されない。</p>
利用または提供する情報の項目	患者診療情報全般(とくに認知症の病状、せん妄発生状況、治療内容・経過など)、他機関への情報の提供なし
対象者及び対象期間	当科に入院した ASM 患者、2015年1月1日～2022年12月31日
利用の範囲	本研究内
試料・情報の管理について責任を有する者	本研究責任医師: 他田正義(脳神経内科)
問い合わせ先	
共同臨床研究機関	なし
備考	